

「狂言」を通じて日本の伝統を

身近に感じてもらうための体験講座です!



狂言体験

子どものための

ぶす
狂言「附子」、
ゆきやま
小舞「雪山」
に挑戦!



あらすじ

狂言「附子(ぶす)」

山一つ向うまで出かける主人は、太郎冠者と次郎冠者に留守番をいっつけます。主人は二人に桶を見せ、この中には附子という毒が入っていて、その方から吹く風にあたっただけで死んでしまうくらいだから、絶対に近づかないようにと言い置いて出かけます。しかし、だめだと言われると、やってみたくなるのが人情。

二人は、こわごわ桶に近づき、中を覗き込みます。すると、中身は附子ではなく、おいしそうな砂糖だったのです。二人は我慢できず、つい砂糖を口にしまい、とうとう全部平らげてしまいます。そして、言い訳のために主人秘蔵の掛け軸や、天目茶碗を壊して、大声で泣きながら主人を待ちます。二人は、驚き怒る主人に、わけを話すのですが…。一休さんの頓知ばなしとしても登場する有名な狂言です。

講座

2022年

6月11日(土) 6月19日(日)
6月26日(日) 7月2日(土)

各日 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)

発表

7月3日(日) 15:00開演(14:45開場) 観覧無料

会場 《講座》茨木クリエイティブセンター・多目的ホール
《発表》茨木クリエイティブセンター・センターホール

受講料 1,000円(通し)

定員 20人

対象 小学生

- 講座から発表まで5回通しで参加できる方。保護者同伴でご参加ください。
- 動きやすい服装で、足袋または靴下を着用してご参加ください。
- 録音・録画機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。

4月10日(日) 10:00受付開始

お申込み
お問合せ | 茨木市文化振興財団・文化事業係
【電話】072-625-3055 (10:00~17:00)
【web】<https://www.ibabun.jp>



▲申し込みフォーム

講師

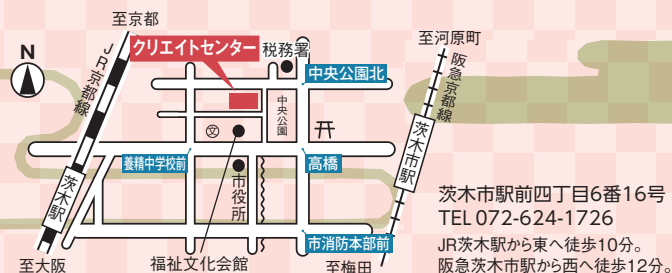


茂山千三郎 しげやま・せんざぶろう

1964年生まれ。

祖父三世茂山千作(人間国宝)、父四世茂山千作(人間国宝)に師事。三歳、「業平餅」童に初舞台。50力国におよぶ海外公演をはじめ、他ジャンルとの交流、また演出家としても活躍。デビュー作ミュージカルドラマ「ONATSU」では現代劇・オペラ・ミュージカル・狂言をユニットさせ好評を得る。2013年堺シティーオペラ「ちゃんちき」の演出で「UFJ」信託銀行奨励賞受賞。

落語立川志の輔、中国古箏伍芳、二胡奏者チェンミン、夏川りみ、など数々のコラボに挑戦し、京都大学前総長 豊長類学者 山極寿一とともにゴリラの一人狂言「ゴリラ楽」発表。1999年「京都府文化奨励賞」2004年「京都市芸術新人賞」2014年「京都府文化功労賞」受賞、2021年新しい時代の幕開けに、茂山千五郎一門から独立、父・祖父から受けた薫陶を咀嚼し、自らの狂言道を極める決意をする。



茨木市駅前四丁目6番16号
TEL 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分。
阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

ご来場の際は、感染症予防にご協力くださいますようお願いいたします。詳しくは茨木市文化振興財団のwebサイトにて最新情報をご確認ください。